

「ローマ法は、静態的・動態的法秩序ないし国家と言えるか」

“Le droit romain, Un ordre juridique statique et dynamique, un État?”



フランス屈指のエリート養成学校の数少ない法学教授であるジャン＝ルイ・アルペラン氏が、古代ローマ法を、法および国家に関するウェバー、ケルゼン、ハートといった古典的な理論やトロペやスキアヴォーネといった新しい理論を参照し、分析される講演です。

講演者： **ジャン＝ルイ・アルペラン氏** (パリ高等師範学校 法学教授)

**Dr. Jean-Louis Halpérin**  
(Professeur de droit, l'École normale supérieure)

日時： **2019年3月28日 (木) 17:00~19:30**

場所： **南山大学A棟2階会議室**

フランス語 (予定された講演の邦訳を配付予定です。質疑は日本語、英独伊語でも可能です。)

■連絡先：

南山大学ヨーロッパ研究センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

Phone/Mail : 052-832-3111 / center-euro@nanzan-u.ac.jp

URL: <http://rci.nanzan-u.ac.jp/europe/ja/>

講演会のwebサイトに  
アクセスできます→

